

設計課題「住宅地に建つ集会場施設」

(鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建)

1. 設計条件

地方の新興住宅地に建つ集会場施設を計画する。

計画にあたっては、次の ~ に留意する事。

敷地を有効利用した、建築物、イベントスペース等の配置について適切に計画する。

1 階の集会室(1)はイベント等にも使用し、屋外イベントスペースと一体的に利用出来る様にする。

玄関ホールには休憩コーナーを設ける。

(1)敷地

ア. 形状、道路との関係、方位等は下図の通りである。

イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ. 建ぺい率の限度は 60%、容積率の限度は 200%である。

エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ. 電気、都市ガス、上水道及び下水道は完備している。

(2)構造、階数及び建築物の高さ

ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建てとする。

イ. 建築物の最高の高さは、10m 以下、かつ軒の高さは9m以下とする。

(3)延べ面積

260m<sup>2</sup> 以上、290m<sup>2</sup> 以下とする。

(ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)

(4)人員構成

受付事務員 2 名

(5)要求室

下記の所要室は、全て計画する。

	室名	設置階	特記事項
1階部分	玄関ホール	1階	ア.アプローチは北側とする。 イ.20m <sup>2</sup> 以上とする。 ウ.休憩コーナーを設ける。 エ.出入口の幅を1200mm以上とする。
	事務室	1階	ア.12m <sup>2</sup> 以上とする。 イ.受付カウンターを設ける。 ウ.湯沸しコーナーを設ける。
	集会室(1)	1階	・35m <sup>2</sup> 以上とし、その他に倉庫を設ける。
	便所	1階	ア.男女別に設ける。 イ.車いす使用者用を1室設ける。 ・広さは心々2,000×2,000mm以上とする。 ・出入口の幅は内法800mm以上とする。
	湯沸室	1階	ア.5m <sup>2</sup> 以上とする。 イ.ミニキッチン(1,200×600mm)を設ける。
2階部分	集会室(2)	2階	・35m <sup>2</sup> 以上とし、その他に倉庫を設ける。
	研修室	2階	・25m <sup>2</sup> 以上とし、その他に倉庫を設ける。
	和室	2階	ア.6帖以上とし、収納を設ける。 イ.踏みこみを設ける。
	便所	2階	・男女別に設ける。
	湯沸室	2階	ア.5m <sup>2</sup> 以上とする。 イ.ミニキッチン(1,200×600mm)を設ける。
(全体に係る、特記事項)			
1階と2階は階段の他にエレベーターで連絡する。 高齢者、身体障害者等の利用に配慮した計画とする。			

(6)駐車スペース、駐輪スペース

敷地内に管理用として小型乗用車(5人乗り)1台分、8台分の屋外駐輪スペースを設ける。

(7)屋外イベントスペース

ア.敷地内に50m<sup>2</sup>以上の屋外イベントスペースを設ける。

イ.1階の集会室(1)から直接出入り出来るようにする。

(8)その他

ア.建築物内に設けるエレベーターは次のとおりとする。

・エレベーターシャフトは、心々2,000×2,000mm以上とする。

・駆動装置はエレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくても良い。

・出入口の幅は800mm以上とする。

・乗降ロビーの幅、及び奥行きはそれぞれ内法は1,800mm以上とする。

イ.建築物内又は敷地の通路において高低差がある場合は、必要に応じてスロープ(勾配1/15以下)とする。

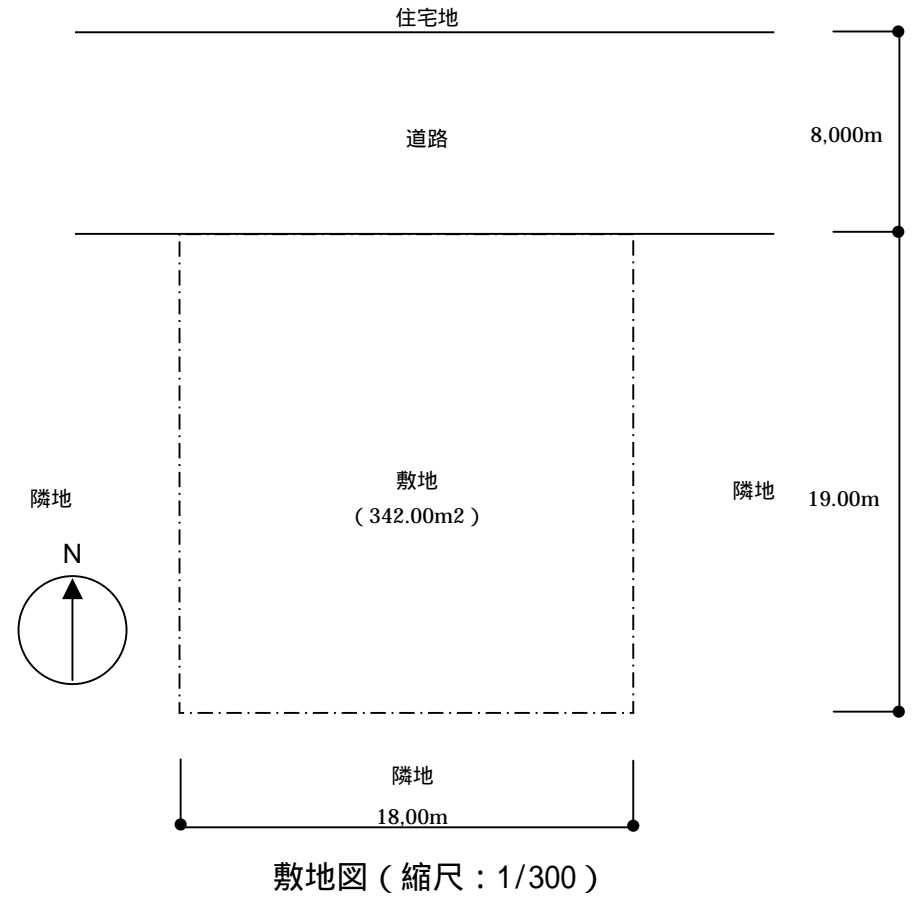
2. 要求図書

a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい。

b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)

c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛りは5mm(矩計図にあっては、10mm)である。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア.敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ.1階平面図兼配置図に屋外待合スペース、屋外運動スペース、門、塀、植栽、駐車スペース、駐輪スペース、イベントスペース等を記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	ウ.室名を記入する。 エ.所要室には、次のものを記入する。 ・受付にはカウンター、椅子 ・事務室には机、椅子 ・湯沸室にはミニキッチン ・便所に便器、洗面器 オ.住宅部分には、台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 カ.2階平面図に、1階屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 キ.矩計図の切断位置を記入する。
(3)立面図 (1/100)	・北側立面図とする。
(4)矩計図 (1/20)	ア.切断位置は、1階、2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ.作図の範囲は外壁芯から1,000mm以上とする。 ウ.矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ.主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ.主要部材(基礎、地中梁、柱、壁、梁、床スラブ、屋根スラブ)の名称・断面寸法を記入する。 カ.屋根、外壁、床、その他必要と思われる部分外気に接している部分の断熱措置を記入する。 キ.室名及び内外の主要な部分(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5)面積表	ア.建築面積、床面積及び延べ面積を答案用紙の面積表に記入する。 イ.建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ.数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。



今回はどちらかの課題を選択して、チャレンジしてください。  
2課題ともチャレンジして添削を受ける場合は、郵便小為替4,000円分を同封の上、添削図面を送付下さい。  
図面には必ず、住所・氏名・メールアドレスを記載すること。  
添削締切5月17日消印有効です。速達で送らなくても結構です。  
4つ折角2号封筒程度でお送りください。  
送付先:  
学科製図.com 出版局 〒657-0024 神戸市灘区楠丘町2-5-20  
振込先  
郵便振替 00990-9-176259 学科製図.com 出版局